

わがかわ報

第104号

編集発行

香川自治会
広報委員会
興版印刷所

人口	9,810人
男	4,905人
女	4,905人
世帯数	2,964世帯
現在	(元.7.1)

活発な意見の交換

上半期事業についての役員会

六月二十四日(土)午後七時から香川自治会館において役員会が開かれた。冒頭、熊沢会長から概略次のような挨拶があった。「平成元年も半ばを迎え、これからは香川自治会として大きな行事が予定されているが各町内会、各委員会とも順調に推移しているのは大変結構なことです。きょうは今まで行なってきたことを振り返り今後の方針について確認しあ



大雨が降るとこんなところも

つて下さい。」
続いて石嶋総務委員長から十月七日に香川公民館において開催される市民集会にむけて香川自治会としての課題について、主として
1. 生ゴミの減量化
2. 駅前通りの渋滞と、湘南国道の公害
などについて、運営委員会の三役会で集約したい旨発言があった。
続いて香川自治会活動の現状と解決策について協議に入った。
1. 町内会活動の活性化について
町内会内の役員会をもってほしい。
掲示板の修理 — 材料は自治会でまとめて購入、修理するのは各町内会で。
掲示板の管理は、環境整備が行うのか、町内会で担当するのか、はっきりしていない。分担を明確にしてほしい — 結論は町内会で管理するという事になった。

香川自治会の規約

皆さんは、香川自治会の規約をご存じですか。ご存じのない方は、各世帯に配布されている「会員名簿」の前のほうをご覧ください。正式には「香川自治会会則」という名称の、五章、二十三条から成っていて、香川在住の約一万人の方々の自治活動の基本ルールが示されています。今、ご覧頂いているこの広報も、第二章第六条一項にもとづいて広報委員会

。下水道の整備について、大雨が降ると、すぐ床下浸水がおこる地域があるので、一時も早く行政へ働きかけをほしい。
。ゴミの減量化について生ゴミ処理器の普及は三〇〇軒そこそこである、ゴミは原則として自分で処理すること、道路に放置しないでほしい。
2. 防災PRについて 広報で、特集記事を掲載してほしい。
3. 盆おどり大会について



規約がのっている会員名簿

が各町内会から選出され「広報わがかわ」の編集・発行を行なっています。
住民の生活の向上は、行政に第一義的責任があるのは当然ですが、私たちの身のまわりのできごと、問題点について、深い関心を持ち、解決策があれば皆で相談して、自分たちで実行するという自治活

旧盆の時期をはずし、夏まつり納涼大会という形で八月上旬に行う
4. 体育行事について バレーボール、ハンドボール、ソフトボール等順調に行っているが、選手が容易に集まらないのが現状、今後は早朝ラジオ体操など全員が参加できる行事も考えたい。
5. 環境整備活動表彰について
今年度も実施したい。
6. 自主防災訓練について 一〇月一四日(土)午後を予定している。
7. その他 浜降祭の実施について等、話題が多く、出席者も真剣に話しあったので、大変充実した役員会であった。今後の活動面でおおいにプラスになることだろう。

展示会は八月二十二日から

環境美化の絵作文募集

動は、民主主義社会では、大変重要な活動となっています。その活動のきまり、いわば、香川の人々の生活向上のため香川の憲法ともいえる大事な規約(会則)に、もう少し関心をもって頂きたいと思えます。この会則の変更は付則

により評議員会の議決と組長の承認があれば可能です。不都合な点があったら、評議員さんとおして改正できません。昨年度、評議員会で規約の勉強会がもたれました。一般の会員さんも、規約についてもっと勉強しましょう。

環境整備委員会では、恒例の「香川の町を美しくする絵画、ポスター、作文募集」を行なっている。内容は次のとおり。
目的、香川の町の今の良さ、美しさをみつけるため。さらにもっとよい町にするにはどうしたらよいか、そして美しい住みよい町にするために、今、何ができるか
応募資格 香川在住小中学生
期間 7月20日～8月20日
応募のきまり、応募の画用紙原稿用紙は自治会館又は駅前江南堂書店にあります。
絵画、ポスターはクレヨンクレパス、水彩えのぐその他
表彰式 8月27日 10時
自治会館にて
作文は四〇〇字詰原稿用紙二枚以内
絵画、ポスターは裏面に住所、氏名、学年、電話番号、町内、組を記入
作文は題名、氏名の次に住所、学年、電話番号を記入
全員に参加賞を用意
展示会 8月22日～25日
自治会館第一会議室で開催
作品は、全部返却される。

。環境整備委員会から一、二年生は絵だけでもよいのです。三年生は社会で学習した町の様子でも作文に書いたり、こうしたいと思うことを絵に書いてください。四年生は下水道、ごみ処理の方法など学校の社会科で学んだことを生かしましょう。
五、六年、中学生は、今、考えている不便なこと、もっとこんな町にというような意見を書いてみて下さい。

町内対抗ソフトボール大会開かる

香川地区体育振興会による大会が、去る七月二日、鶴が台中学校グラウンドで行なわれた。各町内会の選手による熱戦がくり広げられ、次のチームが三位までの入賞を果たした。
男 優勝 甘沼
二位 第二町内会
三位 第一町内会
女 優勝 甘沼
二位 第一町内会
三位 第三町内会

防 災

365日が防災の日

防災の心構えについて

香川防災本部長 熊沢幸一

伊東市東方沖群発地震や、海底火山の噴火活動の状況について政府は長期体勢で臨むことを関係自治体に充分話し合う事を決めたという。伊東沖噴火は今後に向かつて重要な示唆現象を裏付けるものとなってきた。地震の起きる頻度が高い東京三〇キロ圏内は節度のある形で警戒体勢をとることが肝心だ。自治体として統制するなかに、先ず住民の対応についてはパニック化した現象のなかで必ず起きることはデマに対する住民の対応であつて、乱れ飛ぶデマ情報に惑わされないような平時の訓練が必要になつてくる。「何よりも分かりやすい現状の広報が繰り返し必要だ」

電話情報は最も不安に拍車をかけるので誠に慎重さと冷静な心構えが肝要だ。情報伝達は、群発地震の活発化を契機に、災害警戒本部が政府に設置される事になる。市の広報は気象庁から情報通

場所を定めたりすることは、食糧補給等の断絶により墓穴を掘ることになる。あくまでも指定された場所に避難すべきだ。各自、各家庭、各町内会、自治会は避難体勢を万全にしなければならぬ。冷静な心構え、不安な地震や噴火の状態が長く続けば、神経症的な病気が発生する。伊東市内では海岸沿いを中心に不眠症や、食欲不振、下痢などの病人が続出したという、神経過敏となり「ちよつとした音でも目が覚め眠れない」睡眠薬については、万一の際に熟睡して目が覚めなくなる危険性もあり、規定の半分以下にして患者に投与しているとのことである。最後に、伊豆半島は東海地震に備えて日本でも最も地震に対する観測網が充実しているので信頼すべきであるとの声もある。当香川自主防災は、こそつて防災訓練の時は参加して非常の際には一人も事故のないようこの際それぞれ真剣に考えて欲しいものである。



香川に消防団詰所が新設される

香川七二三―一番地、三河屋菓子店の東側道ぶちに十坪ほどの小屋がある。

時々、近隣に火災等があると、そこから消防車が飛び出していく。寒いときも、暑いときも団員がその小屋に待機して、地域の安全を計っている。

。殆どの方がこの場所を、知らないのではないかと思う。この消防小屋をなんとか新しい建物にしたいと、五年前から消防本部に折衝を重ねてきた結果、この度新設が決定した。鉄骨二階建、耐火構造で一階の面積は26.5㎡、二階は

家庭防災の心がまえ

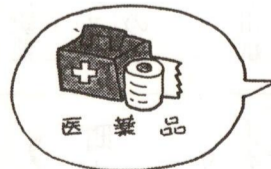
いざという時のために用意しておきましょう。



最低3日分の食糧



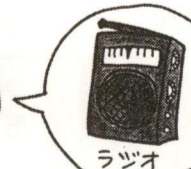
飲料水



医薬品



非常袋



ラッソ



固形燃料



懐中電燈(乾電池も忘れず...)

ておき、また、風呂にはいつも水を張るなどして、防火用水を用意しておきましょう。非常持ち出し品の用意

食糧、飲料水、救急医薬品、トランジスタラジオ、懐中電灯など、次の絵のような防災用品を非常持ち出しできるよう用意しておきましょう。食糧と飲料水は、3日分程度

を日常の生活の中で常に備えておきましょう。(県の防災資料より抜粋)

防災倉庫 設置される

此の度、大規模地震及び災害に備えて、4基の防災倉庫が設置されました。

第一、二倉庫は第二青少年広場に、又第三、四倉庫は第一青少年広場にそれぞれ設置されました。非常用品は未だ配備されていませんが、今年度中には必需品を選定して、配備する予定です。

写真は青少年広場に設置された防災倉庫

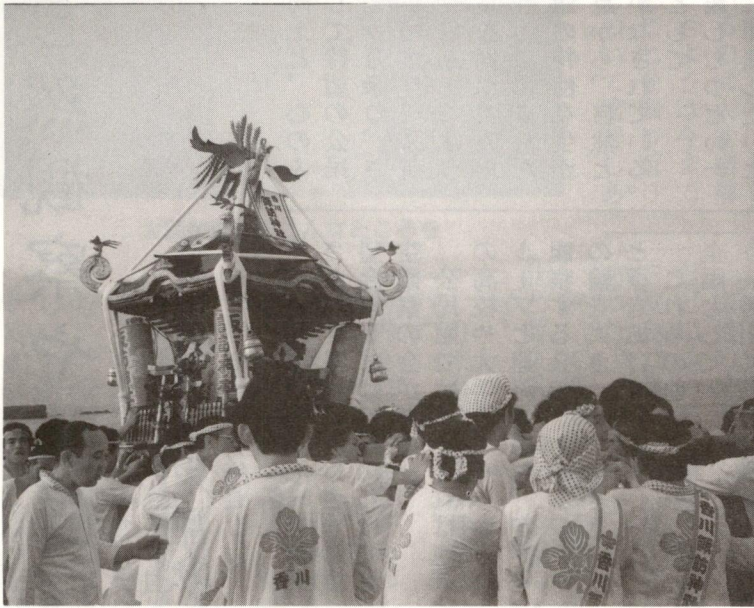


夏の風物詩

浜降祭

梅雨明け真近か、久しぶりの晴天に恵まれた七月十五日午前二時、諏訪神社の境内には、揃いの神輿姿に身を固めた人達が、ぞくぞくと集まり始めた。県の無形文化財、晩の祭典「浜降祭」を待ち兼ねていた神輿保存会、氏子達で境内は熱気に包まれていた。はやる気持

ことしも華やかに地域の祭り



ちを押える様に実行委員長長の挨拶、注意もそこそこに、午前三時に二基の神輿は宮立ちとなった。一足早く世話人は茅ヶ崎海岸の祭場にお弁当や酒を持ち込み、陣取った。土曜日という事で例年より多くの見物客の見守る中、五時過ぎ鶴嶺八幡宮の神輿を先頭に、三十四基の神輿の式場への入場が始まった。わが香川の諏訪神社の神輿は八番目に「香川の大工さん」によって造られた純茅ヶ崎産の神輿」との紹介で、堂々の入場であった。祭りもクライマックスに達し、担ぐ人も、見物客も一体となって興奮の渦と化した。午前七時より、整列した神輿の前で、厳かに神事が取り行なわれ、八時過ぎに、参集した人々に、夏の風物詩を満喫させてその幕を閉じた。

盆踊りたかわつて

夏祭り納涼大会

恒例の盆踊り大会は、今年「夏祭り納涼大会」と名称も新たに、例年より早めに行なわれることになった。

八月十日～十二日の三日間、PM七時三十分～十時まで、第一青少年広場で、香川自治会主催による。文化委員会の計画で、次の協力団体により進められている。

- 協力団体
- 婦人会、商興会
- 香川老人会、祭ばやし
- 各踊りのサークル
- 子供会

諏訪神社

夏まつり

今年七月二十九、三十日と諏訪神社の例大祭が行なわれたが雨の多い今年の事、例大祭も雨にあい荘厳な職りを立てる事が出来なかつたが、境内にはいつもとちがった光



夏まつり風景

カッピーちゃんをよろしく

香川商興会シンボル決定



カッピーちゃんネーミング発表

景が目についた。なんと御稲荷さんが有志の方々のお骨折りで完成に近い姿を見せていたのである。夜は地元の方々や、沢村劇団などでにぎわっていた。

かねて募集していた香川商興会のシンボル、カッパ君のネーミング発表会が、香川駅前で開催されました。朝から雨が降るあまり良くない天気ですが前日から香川駅前には、ステージも設置されていたので予定通り行なわれることになり、商興会の方々や県立北陵高校の生徒など多くの人が、発表会の準備でいそがしく働かれました。雨もこやみなく降りつづく中午前十時すぎに北陵高校のオーケストラの演奏される前で商興会会長よりカッパ君の名前が発表されその名もカッピーちゃんとなづけられました。

七百通以上の中から選ばれたそうで名づけ親の第四町内会の中村章子さんには会長より表彰され多くの記念品などが贈られました。これからは香川地区の人気者になって行く事でしょうカッピーちゃんをよろしく!!

カッピーちゃん



サークル紹介

香川バトントンクラブ

代表者 長田 洋子

香川にバトントンクラブが出来てから早い物で、14年目を迎える様としております。

最初は大岡祭に出る事が目的で、一生懸命練習しましたが、今では年間行事も増えて、子供達の活躍する場が多くなりました。春はスポーツ少年団の野球の開会式、夏休みに合宿、秋は地区体育祭と文化祭、文化会館での発表会(これは市内全部のバトントンワラームの発表会です)最後に大岡祭に出場して年間行事が終るので、今年は横浜博に2度出場しました。これからも機会があれば、市外にどんな出る予定です。一年生から入会出来ますので希望者をまっております。



大岡祭でパレードしているバトントンクラブ

公民館だより

自然観察や映画など

順調な利用状況

地域の文化向上と、心のふれ合いの場として待望の公民館が開館して二ヶ月余り、さまざまな試みが始まり、新しい企画もたくさんあるようだ。そのあたりを伺ってみた。まず、この自然に囲まれた地域での公民館の特性を生かし、様々な視点から、自然とふれあう試みがなされている。まずその一つとして

「香川自然に親しむつどい」を四季の折々に開催したいとしている。身のまわりの植物や鳥、木の実、小出川、といったテーマで講師の話聞き観察するという企画で、第一回は7月に、「蛍の観察」「蝶やトンボと遊ぶ」の二回の催しがもたれ、それぞれたくさんの方の参加があった。又、同じ目的から「天体、

宇宙を観察する催し」も計画され、7月にはおひさまの観望会、8月は二回にわけて星空観察の会がある。公民館では、できれば地域の高校や大学の、そういうグループと連絡を保ち、自然を観察する会の、ネットワークの輪を大きくしてゆきたい、と夢を膨らげている。これらの他に、これからの企画として

「香川くらしの講座」

写真家による暮らしの歳時記
第一回は8月12日、展示、スライドによる講演、講師は須藤功氏、以下、10月、12月にも予定。

第一回映画村

9月第一土曜日18時30分
「紳士は金髪が大好き」

解説 金子美恵子氏

9月第二土曜日

「歌よみお夏清十郎」

解説 山根貞男氏

9月第三土曜日

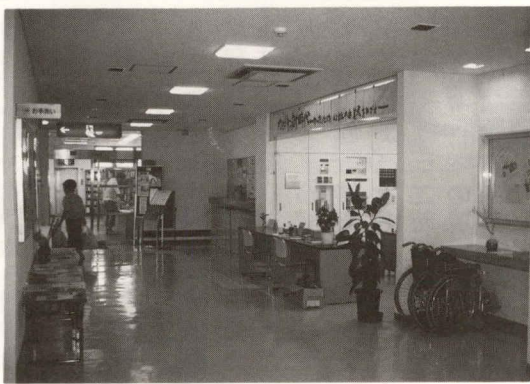
「風の又三郎」

解説 三村晴彦氏

短編映画の会

毎月第二日曜日午後2時
写真教室 秋の予定

これらの催しは毎月の「広報ちがさき」に紹介されている。現在の利用状況としては、5月18日以降現在までに約120の団体より使用の申し込みがあり、定例的には30〜40のグ



ループが使用しているが、使用場所、時間などで希望が重複することが多くなっている。譲り合いの精神で利用していただけるよう望んでいる。なお公民館への要望等があれば、どしどし申し出て頂きたい。



紹介

スポーツ少年団

「香川 グリーンスタース」

現在団員約百名、指導者二十名です。「目標」は①いつも礼儀正しく規律を守ろう②どんな事にもくじけぬ強い心と身体をつくらう③みんな力を合わせだれとでも仲良くしよう『主な計画』①野球の基礎練習、親善試合、公式試合への参加②体力測定の実施③行事の開催④指導者の研修会『年間行事』は、(四月)入団式、(七月)水泳大会、(八月)五年のすいか割り、(八月)五年の夏期合宿、(九月)パーベキュー及び運動会、(十二月)もちつき大会、(二月)卒団式となつていきます。しかし今年より高度鋼グラウンドが使用できなくなり、予定通りに練習、行事等ができないと思われまます。『団の運営』は年間一人当たり会員二〇〇〇円で賄っています。使いみちは、

香川の史跡シリーズ

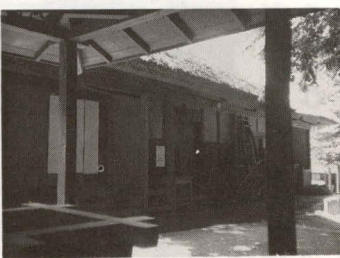
三橋家

古民家を民俗資料館に

江戸時代の古民家が、堤の浄見寺境内に移築され、民俗資料館として保存されている。昭和四十六〜四十八年に香川二二八八番地(北町)の三橋さんの家を解体復元したもので、棟札に江戸時代末の文政十一年(一



傷害保険料、登録料、用具代、その他の諸行事の経費にあてます。以上ですが、紙面をかりてお願いがあります。練習場所に困っています。どなたか心当りの方がおられましたら、ご一報願えれば大変たすかります。尚連絡いただける場合は、金場(五二一五五二五)、広比(五一一一五六)までお電話をお願いします。



旧三橋家(民族資料館)

八二八)に建てられたことが記されているから、約一六〇年前のものである。当時の農家の骨組みのしつかりした立派な住宅で、くぎを使わずに組みこみで作られている。地まつりは、本在寺の日ゆう上人が行ない、45けん程の家からお祝いが届けられていることも記録に残っている。裏山から、中世の五輪塔、宝篋印塔、板碑、蔵骨器が発見された(昭五年)。蔵骨器は、現在、県立博物館に保管されているが、十三世紀の布袖四耳壺(古瀬戸二個、常滑二個)で、板碑は南北朝中期のものと言われている。この場所は、茅ヶ崎北部の

俳句 茅花会

紫陽花や一夜の会議まどまらず
竹落葉の葉の一枚を追ひにけり
荒御輿海の夜明けの透明に
ピカソ展出て向日葵のいびつなる
片蔭に犬の注射のはじまりぬ
滴りや灯して小さき山の神
草笛を吹く少年の一途なる
川べりの風のゆたかや蛍狩
奥宮を先に詣でて夏落葉
泰山木一日の雨を支へる
腰かけの坐りの悪き泥鰌鍋
鮎釣の腰の流れをこらへる

熊沢 幸一
藤村 球子
長島 久江
碓 百合子
香沢 みや
平塚 司郎

おくやみ
6月27日 第四町内12組 亀田 浦吉様 88才
7月6日 第三町内12組 北嶋 十吉様 81才
7月21日 第三町内19組 砂田 セツ様 70才
謹んでおくやみ申し上げます。



丘稜の西端にあたり、この東側の篠山、篠谷とつづく丘稜には、多くの横穴墓(古墳時代)があった所であり、又、この北西部の下寺尾には、西方貝塚(縄文時代)や、七堂伽藍跡(平安時代)もあり、香川の地は古くから人が生活していたことがわかる。今、三橋さん宅は、12代、13代、14代にあたる三橋長正いき江ご夫妻とそのご家族が家を守っていらつしやるが、三代前の三橋大五郎氏は、大正の頃、横浜に出て成功をおさめ、香川の諏訪神社に天水桶、扁額、香川の火の見やぐら、松林小学校に蒸気によるサイレン等を寄贈されている。現在の三橋さん宅は、ケヤキ、タブ、エノキ、クス、モチノキ、イチヨウなどの屋敷林に囲まれて、旧家であることがしのばれる。

